

4. まつげメガボリューム (モデル) コード番号。 9-8(4)

所持品：モデル、延長材料、撮影装備（動画撮影時に本人の顔も一部出てくるが、ほとんどはモデルの目を近くで近接撮影することを原則とする）

1. 動画撮影編集（5分）

* 事前準備撮影 1分 > 約25%時、1分 > 約50%時、1分 > 約75%時、1分

作品や選手の顔が見える動画を5分以内に編集する。

2. 写真(8枚)

トーナメントホームページフォームを参照（A4）

コンプライアンス：写真ソース_ファイルjpg

解像度200dpi

（スマートフォンカメラ800万画素以上）

1. 始める前に簡単にモデル紹介（（例）50代女性、まつげが短くて少ない、目が深い。

2. 素材設定写真 - 始める前に、材料の底にきれいな清潔なタオルを敷き、その上にすべての材料が

入っているTRAYの中に衛生的に整理した後、写真撮影して提出様式に入れます。

3. 始める前に、正面からモデルが目を閉じた写真を置きます。

4. 始める前に、正面からモデルが目立つ写真を置きます。

5. 完成後、モデルの左側から撮影した目の写真を入れます。

6. 完成後、モデルの右側から撮影した目の写真を入れます。

7. 完成後、正面からモデルの目を閉じた写真を入れます。

8. 完成後、正面からモデルが目を開いた写真を入れます。

*審査規定：

- モデルと合うボリューム感ある施術をする。
- まつ毛の長さは少なくとも4つ以上を使用しなければならない。
- 厚さと、カラーに制限がない。
- ガモの接着状態とグルーのべたつきチェック減点

①衛生

- まつげエクステのためのすべての材料をトレイ&バスケットにきれいに整理しておく。

②まつげは15Dまで施術可能で長さは制限がない、ただし、モデルがあまりにも不自然ならば減点対象になることができる。

③形状設計

- 基本デザインの扇形の外観を確認します。
- 両眼のバランスと調和を確認する。

④技術(=専門性、熟練度)

- 両手の両側ピンセットを使用するかどうかを確認する。
(片方のピンセットの使用が区別する役割なのか、それとも捕まえる役割なのかを確認する)
- 髪が皮膚に触れずに一定の間隔を維持しながら施術したことを確認する。
- 接着剤の使用方法(グルー量)
- 全体的にきれいであることを確認する。

<施術基準>

- まつげは厚さに制限がなく、15Dまで使用可能です。

- 延長用ではなく使い捨てまつげを使用してはならない。（この場合は失格となる。）
- ハンドメイドで作ってデザインすることは可能だ
- 長さは少なくとも4種類以上のサイズを利用して左右
対称になるように両目とも施術する。
- モデルの目とまつげを延長したものがよく合うようにしなければならない